



安全検査マーク

おもちゃ花火



ルールを守って楽しい花火

① 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。

花火遊びにもルールがあります。“ぜったいに手をもって使用してはいけない花火”（打上げ花火等）があります。説明をよく読みましょう。

【事故事例】 使用方法の違い

兵庫県 男性 48才
スモークボールを手を持って点火したところ発煙し、手を火傷。

② 花火を人や家に向けたり、燃えやすいもののある場所で遊んだりしないでしましょう。衣服に火がつかないように注意しましょう。

花火遊びをするときは、筒先の方向・場所などに十分に注意しましょう。衣服が燃えると大きなヤケドとなることもあります。

【事故事例】 火災

新潟県 中学3年 男子
自宅前でロケット花火をしていたところかやぶき屋根の上に落ちて出火。

③ 手持ちの筒花火は、手の位置に注意しましょう。

手持ちの吹き出しものは、筒底を握らず、筒の中程より少し下をもち、体から離して使用すると安全です。

④ 風の強いときは、花火遊びはやめましょう。

風の強いときは、遊ばないことです。点火の際は、体を風上にして、風下の人が火の粉をかぶらないよう、風の方向に注意しましょう。

⑤ 水を用意しましょう。

バケツの水に終わった花火をつけましょう。残り火を完全消火し、燃えかすで庭や道路をよごさずにすみませう。途中で消えた花火は水につけましょう。



使用方法・警告・
注意を守ろう!

⑥ 大人と一緒に遊びましょう。

花火遊びは危ないとおこられたため、子供だけでかくれて遊び、事故をおこした例が少なくありません。大人が積極的に参加して、花火の正しい遊び方、火のあとしまつを指導してあげてください。

⑦ たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。1本ずつ遊びましょう。

1本ずつ火をつければおとなしい花火でも、数本まとめて火をつけると、熱が熱を呼んで大きな炎になって危険です。

【事故事例】 まとめ消費

香川県 男性 31才
スパークラーをまとめて着火し、右手に火傷。

⑧ 正しい位置に正しい方法で点火してください。

点火の位置が種類や形状によって異なります。点火方法を確かめてローソク又は線香で点火しましょう。（マッチ・ライター、花火は使わないこと）

【事故事例】 ライター着火

東京都 男性 20才
打上げ花火にライターで点火したところ、着火と同時に打ち上がり、目と周囲を火傷。

⑨ 花火の筒先に顔や手を絶対出さないこと。点火する時や途中で火が消えたときは、特に注意。

【事故事例】 のぞき込み

兵庫県 女性 20才
打上げ花火を導火線に点火後のぞき込んで左目を星が直撃。視力が低下。

⑩ 花火をポケットに入れてはいけません。

転んだり、ぶつかりあったはずみで発火してヤケドをするなど、思いもよらぬ事故につながります。

⑪ 花火を分解して遊ぶことは危険です。絶対してはいけません。

【事故事例】 分解
千葉県 中学3年 男子
花火を分解し火薬を容器に入れていじっていたところ爆発。親指の付け根を骨折。

“花火遊びは、迷惑にならないルールとマナー”

● 時間、場所についての条例を守りましょう

（神奈川県条例、芦屋市条例、鴨川条例など）

● 音の出る花火は、人の迷惑にならない場所と時間を選びましょう

高く上がって音のする花火は、マンションなどに飛び込んで破裂し驚かせ、ケガをした例があります。飛しょうするものは、飛ぶ方向と音に気を付けましょう。

● 風向きを考え、煙で迷惑にならないようにしましょう

夏は窓を開けている家も多いので、煙が入らないように風向きに気をつけましょう。

● 花火は危険物。郵送、飛行機への持ち込みはできません

おもちゃ花火は危険物です。郵便法、航空法の指定により、郵送と飛行機への持ち込みができません。ご注意ください。クリスマスクラッカーを持ち込んだため飛行機の離陸がおくれた例があります。

